

法 学 号 外
平成 28 年 7 月 28 日

各 私 立 高 等 学 校 長 様

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

兵庫県立大学入試の予告に関するお詫びと訂正について
このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

【担当】私学振興担当 中村

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

平成 28 年 7 月 25 日

各 都 道 府 県 知 事
各都道府県教育委員会教育長 様
各指定都市教育委員会教育長

兵庫県立大学長 清原 正義

兵庫県立大学 入試の予告に関するお詫びと訂正

本学の運営にあたりましては、平素から多大なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成 28 年 6 月に公表しました「平成 29 年度（2017 年度）兵庫県立大学 入学者選抜方法」において、【平成 30 年度入試の予告】として公表した内容のうち、看護学部一般入試（前期日程・後期日程）におけるセンター試験の利用教科・科目変更につきましては、【平成 31 年度入試】から実施いたしますので、お詫びの上訂正いたします。

つきましては、誠にお手数ですが、都道府県・指定都市教育委員会におかれましては所管の高等学校及び域内の市区町村教育委員会等に対し、都道府県知事におかれましては所轄の高等学校に対し周知いただきますようお願いいたします。

なお、この内容につきましては、兵庫県立大学公式サイトの入試情報ページ <http://www.u-hyogo.ac.jp/admissions/ao/index.html> にも掲載しています。

○ 訂正箇所

- ・ 別紙「平成 29 年度兵庫県立大学 入学者選抜方法」1 枚目
誤) 【平成 30 年度入試の予告】
→ 正) 【平成 30 年度以降の入試の予告】
- ・ 同〔看護学部 一般入試（前期日程・後期日程）〕の次行
誤) 29 年度入試 → 正) 29 年度・30 年度入試
誤) 30 年度入試 → 正) 31 年度入試

【お問い合わせ先】

公立大学法人 兵庫県立大学
本部事務局 学務部学務課
TEL 078-794-6647 FAX 078-794-5575



平成29年度 兵庫県立大学 入学者選抜方法等（2重下線部分が訂正箇所）

【平成30年度以降の入試の予告】

1 大学入試センター試験の利用教科・科目について以下の内容に変更する（下線の部分が変更箇所）。

〔経営学部 一般入試（前期日程・後期日程）〕

2 9年度入試（4教科6科目または5教科6科目）

出題教科	出題科目	科目選択の方法
地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」	18科目の内から2科目を選択 ただし、理科①で選択した2科目については、合わせて1科目とみなす。 なお、同一名称を含む2科目の組み合わせは、地理歴史・公民においてはできないが、理科においてはできる。
理科	① 「生物基礎」、「化学基礎」、「物理基礎」、「地学基礎」 ② 「生物」、「化学」、「物理」、「地学」	①または②の両方を超える科目を受験した場合は、以下のア～エのうち最も高い総計点を採用する。 ア 地理歴史・公民の第1解答科目と第2解答科目の総計点 イ 地理歴史・公民の第1解答科目と理科①の科目の総計点 ウ 地理歴史・公民の第1解答科目と理科②の第1解答科目の総計点 エ 理科①の科目と理科②の第1解答科目の総計点 オ 理科②の第1解答科目と第2解答科目の総計点

3 0年度入試（5教科6科目または5教科7科目）

出題教科	出題科目	科目選択の方法
地理歴史・公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理・政治・経済」	5科目の内から1科目を選択
理科	① 「生物基礎」、「化学基礎」、「物理基礎」、「地学基礎」 ② 「生物」、「化学」、「物理」、「地学」	理科①から2科目または理科②から1科目を選択

※ 理科について、指定科目数を超える科目を受験した場合は、以下のとおりとする。
・ 理科①・②の両方を受験した場合は、①2科目の合計点と②の得点のいずれか高い方の成績を採用する。
・ 理科②について複数の科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を採用する。

〔看護学部 一般入試（前期日程・後期日程）〕

2 9年度・3 0年度入試（5教科5科目または5教科6科目）

出題教科	出題科目	科目選択の方法
理科	① 「生物基礎」、「化学基礎」、「物理基礎」、「地学基礎」 ② 「生物」、「化学」、「物理」、「地学」	4科目の内から2科目を選択 ①または②のいずれかを選択 4科目の内から1科目を選択

※ 理科について、指定科目数を超える科目を受験した場合は、理科①②の両方を受験した場合は、①2科目の合計点と②の得点のいずれか高い方の成績を採用する。
・ 理科②について複数の科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を採用する。

3 1年度入試（5教科5科目）

出題教科	出題科目	科目選択の方法
理科②	「生物」、「化学」、「物理」、「地学」	4科目の内から1科目を選択

※ 理科について、指定科目数を超える科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を採用する。

2 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点等について以下の内容に変更する（灰色の部分に変更箇所）。

〔経営学部 一般入試（前期日程）〕

29年度入試

区分	教科等				合計
	国語	外国語	数学	地理歴史・公民・理科	
大学入試センター試験	200	200	200	200	800
個別学力検査	—	300	300	—	600
計	200	500	500	200	1,400

30年度入試

区分	教科等				合計
	国語	外国語	数学	地理歴史・公民・理科	
大学入試センター試験	200	200	200	100	800
個別学力検査	—	300	300	—	600
計	200	500	500	100	1,400

〔経営学部 一般入試（後期日程）〕

29年度入試

区分	教科等				合計
	国語	外国語	数学	地理歴史・公民・理科	
大学入試センター試験	200	200	200	200	800
個別学力検査	—	200	200	—	400
計	200	400	400	200	1,200

30年度入試

区分	教科等				合計
	国語	外国語	数学	地理歴史・公民・理科	
大学入試センター試験	200	200	200	100	800
個別学力検査	—	200	200	—	400
計	200	400	400	100	1,200

3 推薦入試について以下の内容に変更する（下線の部分に変更箇所）。

〔経営学部 推薦入試（普通科等及び商業科等）〕

29年度入試

その他の事項	
3	次に掲げる資格試験のうちいずれかに合格している者については、判定時に考慮する。 (1) 日本商工会議所主催簿記検定1級 (2) 日本英語検定協会主催実用英語技能検定1級 (3) 経済産業省所管応用情報技術者試験またはソフトウェア開発技術者試験

30年度入試

その他の事項	
3	次に掲げる資格試験のうちいずれかに合格している者については、判定時に考慮する。 (1) 日本商工会議所主催簿記検定1級 (2) 日本英語検定協会主催実用英語技能検定1級 (3) 経済産業省所管応用情報技術者試験

4 その他の入試について以下の内容に変更する。

〔工学部 帰国生特別選抜入試、外国人留学生特別選抜入試〕
29年度入試

学 力 試 験 等	
出題教科	時間割
数 学	13:00～14:30

30年度入試

学 力 試 験 等	
出題教科	時間割
数 学	13:00～15:00

〔工学部 編入学試験〕
29年度入試

学 力 試 験 等	
志望学科	検査科目
機械・材料工学科	材料力学、流体力学、熱力学

30年度入試

学 力 試 験 等	
志望学科・コース	検査科目
機械工学コース	材料力学、流体力学、熱力学
材料工学コース	力学、電磁気学

〔環境人間学部 編入学試験〕

学力試験の出題教科「総合問題」「小論文」「口述試験」において、「総合問題」の出題分野に含まれる「英語」は筆記試験を課さず、TOEICまたはTOEFLのスコアを利用する。それに伴い、出題教科を「数学・小論文」「口述試験」に変更する。